

助成者	富澤 奏子	活動期間	2023年4月～2026年3月（予定） 活動中
所属機関	大牟田市動物園	職名	企画広報担当

ネパールにおけるIoTセンサシステムを活用したレッサーパンダ生息地の環境保全、ならびに環境教育の推進

【活動場所】 ネパール イラム地方ジャウバリ、大牟田市動物園

【事業目的】 レッサーパンダ生息域に植林を行うとともに、地域住民と協働してIoTセンサシステムを活用して環境情報および生態情報に関するデータベースを構築。得られたデータと知見から環境教育素材を作成し、絶滅の危機に瀕するレッサーパンダの生息地の環境について理解を深めるための環境教育を推進することを目的とする。またネパールにおける保全活動への持続的な支援へ繋げるため、その内容を動物園から広く一般市民に発信し、市民参加型の持続的環境保全支援システム構築をする。



標高3,000mでの植林風景



インタビュー風景

【活動内容】

- ①ネパールでのセンサを取り付けたトレイルカメラの設置（生息地の多点的情報、植林実施と前後の環境変化を数値化し、環境の変容を比較する）
- ②レッサーパンダ生息地への植林活動 ③事業内容の情報発信、ライブ配信
- ④得られた教育素材を活用したネパール小学校での教育活動と日本における環境教育、およびネパールと日本を繋いだ国際交流教育 ⑤共同事業者を日本に誘致してシンポジウムを開催。動物園へ募金箱と最終情報を表示するモニターの設置

【活動状況】

- 1年目：環境・生態情報センサシステムの試作、旭山動物園での稼働テスト及びデータ解析方法検討、生息地の森へセンサシステムの設置および植林の実施
- 2年目：現地における植林活動調査およびインタビュー調査実施、カメラ・センサから得られた画像およびデータの分析、教育素材作成（日本語、英語、ネパール語）
- 3年目（計画）：教育ワークブック完成・教育活動開始、動物園レッサーパンダ舎へモニター設置、ネパールにおける国際教育活動、レッサーパンダシンポジウム開催。